

港湾工事の生産性向上の 実現を目指して

ジャケット式栈橋上部工プレキャスト床版

国土交通省港湾局は、港湾工事における設計段階からの新技術の更なる導入促進に向けて「港湾工事における“新技術カタログ”～設計段階からの新技術導入検討のために～」を策定しました。

栈橋上部工の施工作业効率化において、我社の《ジャケット式栈橋上部工プレキャスト床版》が新技術カタログに掲載されましたのでご案内致します。

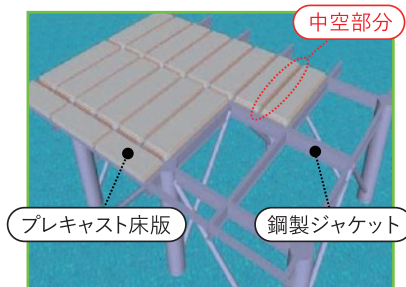


技術概要書

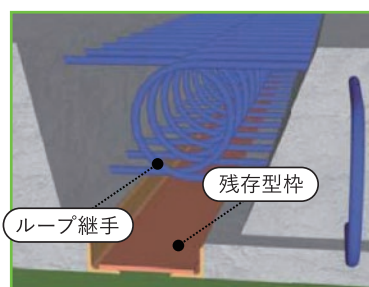
プレキャスト床板(ジャケット式栈橋上部工)

問合せ先	株式会社ヤマウ企画本部営業戦略部松本光一郎TEL:092-872-3130 E-mail:k-matamoto@yamau.co.jp		
技術開発・活用段階	①室内実験段階	②現地実証段階	③直轄工事以外での採用段階
			④直轄工事での採用段階
技術の登録状況等	NETIS登録番号	ECPAT認定番号	その他(特許の取得状況等に関する情報)
	QSK-180002-A		
学術論文等	国土技術開発賞創意開発技術賞受賞		
技術概要	<p>概要</p> <p>従来、新設工事において現地製作(サイトプレキャスト)により対応していたジャケット式栈橋の上部工コンクリート床版をトラックトレーラーで運搬可能なサイズに分割することで工場製作(プレキャスト)としての品質安定と作業工程の削減が可能である。分割することで鋼製ジャケット間の中空部分に接合箇所が発生するが、アングル形残存型枠を使用することで足場、支保が不要となり高い施工性を実現した。</p>		
	<p>比較する従来技術</p> <p>サイトプレキャスト工法/プレキャスト部材を工場ではなく現場内もしくは現場近郊のヤードを活用して、地上でプレキャスト部材の加工・組立を行う方法。</p>		
	<p>従来技術との違い</p> <p>従来技術である現地製作では、製作ヤードを確保し製作する必要がある。現地でのブロック製作は、沿岸地域での製作により懸念される飛来塩分の悪影響や悪天候により品質・工程管理が厳しくなること、製作に携わる熟練技能者の減少が課題となっている。本技術は従来技術と比較すると、直接工事費は15%程度高くなるが、準備費や仮設建物費等の費用である共通仮設工事費が安くなることで従来技術とトータルコストでは同程度となり、工事作業を60%簡略化することで、工期を短縮できる。また、本技術は工場屋内の製作のため、現地製作と比較してヤード製作に関わるベースコンクリートと型枠材の産業廃棄物を削減可能となり、天候等の悪影響を受けないため出来高誤差が少なく、常に安定して製品の提供が可能となり、かつ現地製作するための熟練技能者が不要となる。以上のことより、従来技術と遜色ないトータルコストで高品質な製品を提供可能とした技術となる。</p>		
	<p>技術紹介URL</p> <p>https://www.yamau.co.jp/pickup/archives/12</p>		
対象工種	栈橋上部工		
適用範囲	部材運搬が可能な場所		
施工実績	平成29年度博多港(中央ふ頭地区)岸壁改良工事、平成30年度佐伯港(女島地区)岸壁上部工事	5件	
施工地域	九州		

技術イメージ



プレキャスト床版全体図



中空部分詳細図



施工写真



株式会社ヤマウは、2040年までに、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする『NET ZERO 2040』にチャレンジいたします。

株式会社



本社 〒811-1102 福岡県福岡市早良区東入部5丁目15番7号
TEL 092-872-3301 FAX 092-872-3302
<https://www.yamau.co.jp>



市場開拓部/092-872-3331
開発営業部/092-873-3331
福岡営業部/092-872-3310

福佐営業部/0942-38-1695
長崎営業部/095-801-2750
大分営業部/097-503-1157

宮崎営業部/0985-82-2001
鹿児島営業部/099-225-3572
関東支社/03-5638-7520

沖縄営業所/098-851-7201
広島営業所/082-554-5660
(株)熊本ヤマウ/096-377-1000